「カムのリングア・パックス（言語による平和）の冒険」
オンライン映像ストーリーを通じて、子供達に世界の言語を学ばせる

オレンカ・ビラッシュ（アルバータ大学）

[背景]

多言語主義は世界平和への戦略であるという国連の見解を受けて、三言語主義（母語または民族の言語と、自国の公用語および少なくとも国際語を一つ）を求める全ての人のために、小中学校の児童生徒のための５段階のユネスコ認定プログラムが開発された。

ステップ１では、生徒達は、オンライン上の映像ストーリー（主人公カムがいろいろな国を訪ねて世界の様々な言語の豊かさを学ぶ）を通じて、言語使用、言語喪失、言語危機というキー概念に触れる。ステップ２では、生徒達は、他の言語の習得から何を学ぶか、他言語との出会いにより言語の見方がどう変わるかついて考える。ステップ３では、それぞれのコミュニティにおける言語使用と言語喪失の実態を、地域の少数言語話者とのインタビューを通じて検討する。ステップ４では、生徒達はカナダにおける急速な言語喪失に対する解決策を提案しあい、考えを分かち合う。ステップ５では、その解決策のうちの一つを採用し、協力してさらにその先に進むのである。

[方法論]

本報告は、生徒達がオンライン映像を通じて言語喪失を認知することで、カナダ人および地球人としてのアイデンティティをどう再認識したかについて予備的考察を行う。ネット上での生徒達の観察から得られたデータを用いる。

[結論]

暫定的結論が示しているのは、言語についての意識が増すにつれて、生徒達は言語権が社会正義の一部であると考えるようになり、善き市民についての考えを改め始めるということである。

[報告の方法]

データはおよび説明はパワーポイントで行う。インターネット環境が求められる。